

平成30年度 第9回豊南地域会議 会議録

- 日時 平成30年11月15日(木) 午後6時30分～午後8時45分
- 場所 豊南交流館 1階 大会議室
- 出席者 <委員> 市川 繁 奥村 学 片桐 弘 坂田 一浩
鷹見 喜仲 瀧上 久 橘 寿一 内藤 正康
西口 武彦 林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子
三尾 良介 宮川 尚子 山内 悟 吉森 則雄
- <欠席者> 杉浦 百恵 三浦 智
- <交流館> 梶 いづみ (豊南交流館長)
- <事務局> 小澤 都司子 (挙母事務所長兼地域支援課長)
中根 裕之 (地域支援課副課長)
梅村 剛 (地域支援課担当長)
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

■次第 開会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

- 1 前回の振り返り
 - 2 わくわく事業について
 - 3 地域予算提案事業について
 - (1) 公共交通についての勉強会
 - (2) 豊南地域の交通安全意識に関する調査(アンケート)について
 - (3) 平成30年度地域予算提案事業(交通安全事業)について
- 【啓発部会】子どもに向けた交通安全啓発
みどり線の啓発
- 【運動部会】高齢者に向けた交通安全啓発
- 【計画部会】豊南地域各種団体との意見交換

閉会

■議事(要約)

- 1 前回の振り返り
前回地域会議での協議内容を確認した。
- 2 わくわく事業について
水源公園を愛する会から提出された「矢作川沿いお休み場の景観づくり」のわくわく事業補助金計画変更承認申請書について協議し、変更が承認された。

3 地域予算提案事業について

(1) 公共交通についての勉強会

交通政策課公共交通計画担当鈴木担当長から、豊田市の公共交通の取組について説明後、地域会議委員との意見交換を行った。

◆ 主な意見等

- ・豊南地域でも高齢化が進み、高齢者の移動手段が問題になりつつあるが、たすけあいカーやタクシー活用等のサービスが都市部にも展開される可能性はあるか。
⇒現段階で展開する予定はないが、実施できる可能性はあると思う。
- ・たすけあいカー利用者の主な利用目的は何か。
⇒病院や買い物が多い。
- ・地域バスの利用者数について、平成28年に下がり、その後横ばいとなっているが、どのような背景があるのか。
⇒明確な理由はわからないが、通学に利用されている地域バスもあるので、学校の生徒数によって大きな増減が起こりやすい。
- ・豊南地域内にも地域バスが運行しているが、そのバス停まで行くことが大変だという声もある。また、認知度も低いのであまり利用されていない現状がある。
- ・団地の中も運行できるような公共的な交通手段があると良いと思う。
- ・地域バスに関して、金額を上げてもいいから便利にしてほしいという声もある。

(2) 豊南地域の交通安全意識に関する調査（アンケート）について

豊南地域の交通安全意識に関する調査（アンケート）について、配布数やアンケートの内容について協議した。

◆ 主な意見等

- ・横断旗に関する質問を追加してはどうか。
 - ・自転車歩道通行条件についての質問を追加してはどうか。
 - ・自動車の7-9規制についての質問を追加してはどうか。
 - ・問6、問11、問14の回答項目に、「自転車のマナー」または「自動車のマナー」について聞く部分がないので、追加してはどうか。
 - ・アンケート結果の活用についても検討が必要だと思う。
- ##### ◆ 決定事項
- ・問12の後に自転車歩道通行条件についての質問を追加する。
 - ・問6、問11、問14について、回答項目に「自転車のマナー」、「自動車のマナー」を追加する。

(3) 平成30年度地域予算提案事業（交通安全事業）について

以下、各部会の協議結果

【啓発部会】

◆ 子どもに向けた交通安全啓発

- ・当日の役割分担を決定した。

◆ みどり線の啓発

- ・各委員が調査した危険箇所を地図にまとめた。

【運動部会】

◆ 高齢者に向けた交通安全啓発

- ・配布チラシは案のとおりとする。
- ・事故事例のパネルは、現場の写真、事故後の対応に関する内容が追加できないか検討する。
- ・民生委員に配布を依頼する物品は、たすき型の反射材、靴又は帽子に貼付する反射材の中で検討する。

【計画部会】

◆ 豊南地域各種団体との意見交換

- ・ヒアリングのシナリオについて、各委員からの意見をまとめて作成し、事前に配布する。
- ・11月27日（火）午後6時30分から、豊南交流館にて各自治区長及び担当者に対して、意見交換についての説明を行う。

(終了)

次回開催日 平成30年12月20日（木）午後6時30分から 豊南交流館